

はじめに

地方分権改革の取組が進み、真の地方自治の実現が求められている今、二元代表制の一翼を担う地方議会の役割と責務はますます増大してきております。

県議会においては、今年度も政策立案推進検討委員会を設置し検討がなされた中から、昨年10月には、「再生可能エネルギーの導入・開発の促進」及び「障がい者支援」について提言を行ったところ、来年度予算（案）への反映など、真摯に受け止めていただきました。

この度、引き続き検討を重ねていた同委員会から、「災害に強い県土づくり」について提言すべきとの報告を受け、検討した結果、県政の喫緊かつ重要な課題であることから、今後の施策に反映していただくため、議会として提言することといたしました。

2年連続の奄美大島の集中豪雨災害、桜島や霧島山新燃岳の火山活動の活発化、さらに、東日本大震災による甚大な被害が発生しており、改めて地域や防災対策を見直すなど、災害に強い県土づくりに取り組むことが求められています。

厳しい財政状況の下ではありますが、知事におかれては、この提言の趣旨をお汲み取りいただき、積極的に取り組まれるよう強く要望します。

平成24年3月6日

鹿児島県議会

議長 金子 万寿夫